

第309号 2012年6月29日
弘前大学総務部広報・国際課

学術講演会・研究発表会・公開講座

「第11回 震災研究連絡会
～弘前大学のネットワークで震災研究を広げよう～」開催について

弘前大学大学院地域社会研究科では、「震災研究連絡会」を下記により開催いたします。震災対応や震災研究に興味のある方はどなたでも参加・聴講できますので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

当日は報告の後に、震災に関する情報・意見交換を行います。
情報をお持ちの方はこの機会にご紹介ください。

1. 日 時：2012年7月6日（金） 18：00～
2. 場 所：弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大1F
コミュニティ・スペース
3. 内容：「福島県の復興について
ーインキュベーションマネージャーからの視点」
新城 榮一（しんじょう・えいいち）
株式会社ニセンエックス代表取締役CEO
いわきパイロットオフィスインキュベーションマネージャー

「防災と共助ー青森県防災士会の取り組み」
櫛引 素夫（くしびき・もとお）
弘前大学地域社会研究会／NPO法人青森県防災士会 理事

4. 対 象：一般の方、学生、教職員

問い合わせ先：弘前大学大学院地域社会研究科 教授 檜 楨 貢
電 話：0172-39-3938（内線3938）
E-mail：himaki@cc.hirosaki-u.ac.jp

（東北支部第207回）
「2012年度「化学への招待」弘前大学一日体験化学教室」のお知らせ

1. 日 時：2012年8月3日（金）10：00～16：30
2. 会 場：弘前大学理工学部・教育学部（弘前市文京町3および1）
〔交通〕JR「弘前」駅前3番バス乗り場で弘南バス「小栗山」または「学園町」行に乗車して「弘前大学前」下車
3. 対 象：高校生（中学生・一般も可） 定員60名

4. 参加費：無料

5. 内容：午前中は講演、午後はA～Gに分かれて化学実験を体験

○講演：「放射性物質はどこに濃縮しているのか？
どうすればいいのか？」
理工学研究科 鶴見 實

○実験：

A)「イクラ作りに挑戦してみよう」理工学研究科 澤田 英夫

B)「色で測る!! ードリンク剤中の鉄の定量ー」
理工学研究科 糠塚 いそし、北川 文彦

C)「高分子の弾性を如何にして測るか？」理工学研究科 須藤 新一

D)「バイオ光化学電池」「色が変わる無機高分子」理工学研究科 阿部 敏之

E)「光で反応する金属錯体を合成して青写真をつくろう」理工学研究科 喜多 昭一

F)「酸素を吸う金属錯体の逆襲」理工学研究科 宮本 量

G)「バニラの香りを取り出してみよう」
教育学部 長南 幸安、農学生命科学部 坂元 君年

4. 主催：日本化学会東北支部、弘前大学大学院理工学研究科

5. 後援：弘前市教育委員会、青森県教育委員会、東北ポリマー懇話会、弘化会

6. 申込方法：1人1枚のはがきに「化学への招待」と表記し、1)氏名(ふりがな)、2)住所、3)学校名と学年、4)希望の実験(A～Gの記号で第3希望まで)を明記して7月11日(水)まで下記宛にお申し込みください。FAXやE-mailでの申込も受け付けます。

*定員60名になり次第募集を締め切ります。

問い合わせ先：〒036-8561 弘前市文京町3
弘前大学大学院理工学研究科 川上 淳
電話：0172-39-3566
FAX：0172-39-3541
E-mail：jun@cc.hirosaki-u.ac.jp

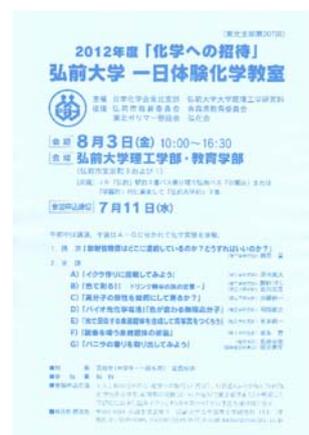
「第60回 東北学校保健学会」開催のお知らせ

1. 日時：2012年9月8日(土) 10:00～17:00(予定) (受付開始時刻 9:30)

2. 会場：弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール

3. 趣旨：研究発表や討論を通じて、教師、行政、医療関係者等の学校保健に関連する者及び研究者の密接な連携を図り、東北地方における学校保健の発展に寄与する。

4. 主催：東北学校保健学会



5. 後 援：青森県教育委員会、青森県学校保健会、青森県医師会、青森県歯科医師会
青森県学校薬剤師会、青森県養護教員会、弘前市学校保健会、弘前市医師会、弘前歯科医師会
弘前市学校薬剤師会
6. 学会長：弘前大学教育学部 教授 太田 誠耕
7. 参加資格：学校保健に関心を持つ方であれば、誰でも参加して研究発表や討論を行うことができます。
8. 教育講演：演 題 健康教養と健康教育について
講 師 中路 重之（弘前大学大学院医学研究科長・医学部長）
9. 特別講演：演 題 ネット・ケータイによる子どもの性・性モラルの破壊
～ターゲットにされている子ども達～
講 師 大谷 良光（弘前大学教育学部教授）
10. 一般口演：
1) 演題申込期日 2012年7月27日（金）
2) 口演時間 一題7分、質疑応答3分
3) 発表形式 パワーポイントが使用できます。
PowerPoint 2003-2007 Windowsで作成してください。
資料を配布する場合には、100部用意の上、当日、受付にお渡しください。
4) 発表申込 氏名、所属、連絡先電話番号、メールアドレスをメールで下記事務局にご送付ください。
演題募集要項、申込用紙をお送り致します。
11. 抄録原稿：提出締切日 2012年8月10日（金）必着
12. 参加費：1人2,500円（抄録代を含む。学生・大学院生1,000円）を学会当日、受付で申し受けます。なお、共同研究者で当日欠席の方の分（1,000円。抄録集代を含む）も、お支払い願います。
抄録を希望する場合には、1,000円で配布いたします。
13. 参加申込：2012年7月31日（火）までに、氏名、所属、連絡先電話番号、メールアドレスをメールで下記事務局にご送付ください。参加申込書をお送りいたします。
なお、出張依頼書が必要な方はあらかじめお知らせください。

問い合わせ先：弘前大学教育学部教育保健講座
第60回東北学校保健学会事務局 面澤 和子
電 話：0172-39-3467（FAX兼用）
E-mail：menzkazu@cc.hirosaki-u.ac.jp

「留学生の日本語発表会」開催のお知らせ（再掲）

1. 日 時：2012年7月19日（木） 10:20～11:50
2. 会 場：弘前大学総合教育棟2F大会議室
3. 発表予定学生：
・テネシー大学マーチン校（アメリカ合衆国）2名
・コンケン大学（タイ王国）2名
・チェンマイ大学（タイ王国）1名 計5名



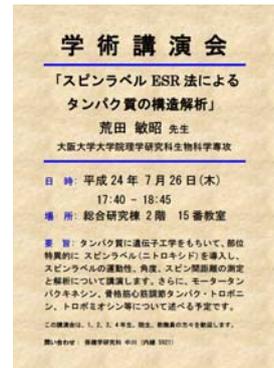
※参加費、事前申し込み不要。どなたでもご参加できます。

※入退室は自由です。

問い合わせ先：弘前大学国際交流センター 小山 宣子
電 話：0172-39-3983

「講演会」開催のお知らせ（再掲）

1. 日 時：2012年7月26日（木）17：40～18：45
2. 会 場：弘前大学大学院保健学研究科総合研究棟2階 第15講義室
3. 演 題：スピンラベルESR法によるタンパク質の構造解析
4. 講 師：大阪大学大学院理学研究科生物科学専攻 荒田 敏昭
5. 概 要：
タンパク質に遺伝子工学をもちいて、部位特異的に スピンラベル（ニトロキシド）を導入し、スピンラベルの運動性、角度、スピン間距離の測定と解析について講演します。さらに、モータータンパクキネシン、骨格筋心筋調節タンパク・トロポニン、トロポミオシン等について述べる予定です。



問い合わせ先：弘前大学大学院保健学研究科 中川 公一
電 話：0172-39-5921

学 内 掲 示 板

学長オフィスアワー変更のお知らせ

学長と本学の学生・教職員が直接対話する機会を設けるため、学長オフィスアワー毎月第1金曜日及び第3木曜日に実施しておりますが、下記のとおり変更になりますので、お知らせいたします。

変更前	変更後
7月19日（木）	7月20日（金）

※時間、場所に変更はございません。

問い合わせ先：弘前大学総務部総務課（秘書室） 内線3004

URL：<http://www.hirosaki-u.ac.jp/president/officehour.html>

本学では、男女共同参画を推進するために、平成21年8月に男女共同参画宣言を行いました。遠藤前学長の任期満了に伴い、男女共同参画をより一層推進するために、佐藤学長が、改めて弘前大学男女共同参画推進宣言（学長宣言）を下記のとおり行いました。



弘前大学男女共同参画推進宣言（学長宣言）

弘前大学は、平成21年8月に男女共同参画を宣言し、同年10月には男女共同参画推進室を設置し、さらに平成22年4月には、次世代育成支援対策推進行動計画を策定し、男女共同参画の推進のために積極的に取り組んでまいりました。

本学の根本精神である『世界に発信し、地域と共に創造する弘前大学』の実現には、男女共同参画の推進が不可欠です。性別、年齢、国籍等を問わず、ワーク・ライフ・バランスに配慮しながら、誰もが学びやすく働きやすい環境づくりが必要です。

これからも不断の努力を重ね、以下のような取り組みをもとに、男女共同参画をより一層推進することを、ここにあらためて宣言します。

- 1 弘前大学は、教育・研究・就労・修学における機会均等を推進します
- 2 弘前大学は、男女共同参画を妨げる要因を精査し、これを排除します
- 3 弘前大学は、大学運営に関わる性別等における格差を是正し、男女共同参画を推進します
- 4 弘前大学は、仕事と家庭・地域生活の両立を可能にするワーク・ライフ・バランスモデルを構築します
- 5 弘前大学は、次世代育成支援対策を推進します
- 6 弘前大学は、国際交流を通して男女共同参画を推進します
- 7 弘前大学は、これらの男女共同参画の推進を地域社会に発信します

平成24年6月14日

弘前大学長 佐藤 敬

問い合わせ先：弘前大学男女共同参画推進室

電話：0172-39-3888

E-mail：equality@cc.hirosaki-u.ac.jp

第8回弘前大学学生『言語力』大賞コンテストのお知らせ

1. 目的：本事業は、学生の文字・活字文化に対する関心と理解を促進し、「問題解決のための調査能力、論理的思考、説得力のある表現」を含む、言語力及びコミュニケーション能力の向上を図ることを目的とする。
2. 応募資格：弘前大学学部学生
3. 部門：Ⅰ 文学作品部門
Ⅱ テーマ部門（テーマ； 災害復興）
4. 応募要領：応募者は、各部門ともに以下の要領に基づき、ご応募ください。
 - (1) 応募者は、作品原稿と必要事項を記入した応募用紙を提出してください。
 - (2) 応募用紙は、図書館ホームページ(<http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/>)からのダウンロード、又は図書館本館2階メインカウンター及び医学部分館カウンターでお受け取りください。
 - (3) 作品の文字数は、各部門ともに4,000字程度とします。
 - (4) 本コンテストは「言語力」コンテストであるので、誤字・脱字には十分注意してください。
 - (5) 各部門の原稿は、手書き原稿、又はワープロソフトによるデータ原稿とし、原稿には応募者の所属・氏名は記載しないでください。
 - (6) 手書き原稿の場合は、400字詰め原稿用紙に通し番号を記載し、応募用紙に原稿枚数を記入してください。
 - (7) データ原稿の場合は、Word又は一太郎のワープロソフトを使用して作成（ページ設定はA4サイズ横置き、縦書き、40字×30行）し、CD等の媒体に収め、印字したものととも提出してください。なお、応募用紙の原稿枚数には、400字詰め原稿用紙に換算した枚数を記入してください。
 - (8) 応募作品は、両部門合わせて一人3作品以内とします。
 - (9) 応募作品は未発表のものとし、応募原稿は返却しません。
また、受賞作品の著作権は主催者弘前大学附属図書館に帰属します。
5. 提出・締切：図書館本館2階メインカウンター及び医学部分館カウンターまでご持参ください。
受付は平日の9時から17時までとします。また、郵送による提出も受付します。
＜＜ 2012年9月24日（月）必着 ＞＞
6. 結果発表：2012年10月27日（土）「文字・活字文化の日」
7. 審査員：『言語力』大賞コンテスト審査委員会委員
8. 賞：

『言語力』大賞	各部門	1名	図書カード	10万円
優秀賞	各部門	若干名	図書カード	5万円
佳作	各部門	若干名	図書カード	5千円
9. 受賞作品の公開：『学園だより』及び図書館ホームページに審査評を加え掲載。

問い合わせ先・送付先：〒036-8560 弘前市文京町1番地

学術情報部学術情報課資料管理グループ（附属図書館内）

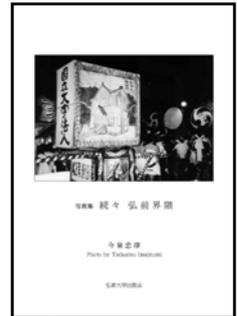
電話：0172-39-3157

E-mail：jm3157@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学出版会から新刊のご案内

今泉忠淳著「写真集 続々 弘前界限」（A5判・53頁・定価1,470円：税込）を出版しました。

本書は、過去に出版された「弘前界限1989-1991」（平成17年）、「続 弘前界限」（平成21年）の続編です。弘前の町のありふれた光景を撮影した写真50枚からなります。フィルムカメラなど見たこともない、という人も少なくない昨今ですが、全て銀塩モノクロフィルムを用いて撮影したものです。「昭和レトロ」などという言葉もよく聞くようになりましたが、弘前でも「昭和の物件」は次々と姿を消しています。親方町のキッチンDaddy、鍛冶町の喫茶センボン、吉野町の中三、富田の米屋さんなど、もう見るこのできない「昭和の物件」の写真も十数点含まれています。



ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求めください。

弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上、ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

問い合わせ先： 弘前大学出版会（附属図書館内）
電 話：0172-39-3168
F A X：0172-39-3171
E-mail：hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp

国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」を作成しています。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

http://www.janu.jp/active/7janu_quarterly_report.html

第23号・第22号において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から） 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部広報・国際課広報・国際グループ

E-mail：jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp、Fax:39-3498、内線：3012